

JAえひめ中央 自己改革工程表

農業者の所得増大

取組目標	農業収入1,000万円以上の農家数の増加		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	JA出荷者数の内、130名	JA出荷者数の内、140名	JA出荷者数の内、150名
実績	141名		

※柑橘類は決算が確定していないため平成29年産の実績値を使用しています。

取組目標	農業収入300万円以上の農家数の確保		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	JA出荷者数の内、20%	JA出荷者数の内、20%	JA出荷者数の内、20%
実績	21.2%		

※柑橘類は決算が確定していないため、平成29年産の実績値を使用しています。

取組目標	第4次営農振興計画に基づいた出荷量の確保(基幹品目、推進品目)								
年度	平成30年度(2018)			令和元年度(2019)			令和2年度(2020)		
目標値と実績値	区分	目標	実績	区分	目標	実績	区分	目標	実績
	果樹	32,807t	29,123t	果樹	33,256t		果樹	31,104t	
	野菜	5,218t	3,867t	野菜	5,460t		野菜	5,684t	
	花卉花木	3,837千本	3,519千本	花卉花木	3,949千本		花卉花木	4,235千本	

※果樹の実績値は決算が確定していないため、見込値を使用しています。

取組目標	正品率(果樹全域基幹品目)と1級品率(果樹全域推進品目)の向上									
年度	平成30年度(2018)			令和元年度(2019)			令和2年度(2020)			
目標値と実績値		品目	目標	実績	品目	目標	実績	品目	目標	実績
	基幹品目	温州	85%	86%	温州	85%		温州	85%	
		伊予柑	85%	87%	伊予柑	85%		伊予柑	85%	
		不知火	85%	90%	不知火	85%		不知火	85%	
	推進品目	カラマンダリン	35%	39%	カラマンダリン	35%		カラマンダリン	35%	
		せとか	45%	39%	せとか	45%		せとか	45%	
		はれひめ	60%	69%	はれひめ	60%		はれひめ	60%	
		施設愛媛果試第28号	65%	75%	施設愛媛果試第28号	65%		施設愛媛果試第28号	65%	
		甘平	60%	50%	甘平	60%		甘平	60%	

取組目標	第4次営農振興計画に基づいた販売高の確保		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	131億円	135億円	131億円
実績	123.9億円		

取組目標	農薬供給価格の低減 (取扱品目の内、上位10品目)		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	99.5%	99.0%	98.5%
実績	99.7%		

※平成29年度の供給価格を100%として実績値を算出しています。

取組目標	予約率の向上 (肥料・農薬)		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	肥料60% 農薬55%	肥料62% 農薬57%	肥料65% 農薬60%
実績	肥料60.2% 農薬55.2%		

農業生産の拡大

取組目標	新規就農研修センター研修生 受入れ者の確保		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	15名	15名	15名
実績	15名		

取組目標	新規就農研修センター研修生 修了者の新規就農者		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	15名	15名	15名
実績	7名		

取組目標	新規就農研修センター受入体制整備による45歳以上新規就農者の確保		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値		10名	10名
実績	受入体制整備		

取組目標	事業承継支援による就農者		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	15名	15名	15名
実績	12名		

取組目標	農業生産法人・集落営農組織の新規設立支援		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	6組織	6組織	6組織
実績	2組織		

取組目標	農作業サポートセンター無料職業紹介所による農作業支援者の確保		
年度	平成30年度(2018)	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)
目標値	70名	70名	70名
実績	22名		

平成30年度(2018)に実践した内容

『農業者の所得増大』に向けて取り組んだこと

- 推進品目についてエリア指導体制を導入し、専門的かつ統一した園地での栽培指導を行いました。また、施設中晩柑は園地巡回による対面指導に注力し、高品質果実生産に努めました。
- 米の直接販売について、平成29年産は直販部門で玄米22,800袋、購買店舗で精米4,000袋を販売しました。(農家還元額125円/30kg)
- 高価格販売に向けた活動を実践し、柑橘販売取扱高全体の内、32.0%を契約的販売として販売しました。
- 平成30年7月豪雨災害で被害を受けた果実を災害果として荷受し、「だんだん復興！がんばるけんまつやま」のスローガンを掲げ販売しました。(926t、206百万円)
- 推進品目への設備投資や新規就農時に必要な資金に対する当JA独自の無利子資金「ブランドパワーアップ資金」において、66件:166百万円のご利用をいただきました。(累計:195件、428百万円)
- 経営指導員による経営分析・指導を56名実施し、安定した農業経営に向けた経営指導を行いました。
- 新人・若手の営農技術員育成対策として県の研修機関での技術研修を行い、早期の技術・知識習得に取り組んでいます。
- 肥料の銘柄集約による価格引下げを行いました。
 - ・ 果樹の配合肥料を18種から10種へ集約し、「えひめ中央天然資材100%粒状」の価格を3.6%低減
 - ・ 「えひめ中央2型有機粒状」と「えひめ中央有機ペレット」を集約し、価格を20.7%低減
 - ・ 水田基肥の化成肥料について全農銘柄集約肥料を採択した結果、価格を14%低減

『農業生産の拡大』に向けて取り組んだこと

- 新規就農研修センターに15名を新規に研修生として受け入れました。また、研修修了者7名を新規就農者として産地に送り出しました。(累計:受入人数49名、就農者数25名)
- 研修の充実に向けて、研修圃場の拡充を進めています。(果樹研修圃場444a、野菜研修圃場60a)
- 研修生の就農園地確保に向けて、JAによる補助事業を活用した耕作放棄地整備による幹旋や既存園地の幹旋を行っています。(H30:170a、累計:400a)
- 農作業サポートセンター無料職業紹介所による雇用契約を22件行いました。また、中島地区ではシェアハウスを用いて県外からの農作業支援者を募り、結果11名の方が農作業支援を行いました。
- 事業承継の相談会を金融部門と連携して開催し、23件の相談対応を行いました。
- 行政と連携して農業生産法人および集落営農組織の設立支援を2組織行いました。

『地域の活性化』に向けて取り組んだこと

- 地域の待機児童解消と働きやすい職場環境を目的に「JAえひめ中央 おひさま保育園」を開園しました。
- 太陽市と愛媛大学の大学生が一緒になって「愛太陽ファーマーズマーケット」を年間で3回開催しました。
- 女性大学「お城下マドンナキャンパス」を開校し、20名の方が受講されました。
- 地域福祉活動への更なる充実に向けて、松山市社会福祉協議会と協定を締結しました。
- 生産者組織と支所が一体となった「1支所1ふれあい活動」(イベントや地域行事への参加など)を40回実施又は参画し、地域の方々が「農と食」にふれあう機会を積極的に設けました。

その他自己改革に向けて取り組んだこと

- 自己改革の取組状況について生産協議会会長と理事者が意見交換を行いました。
- 自己改革の取組状況と総合事業の必要性について組合員アンケートを2,000名の方に行いました。
- 広報誌「まるえびより」に「写真でキリトル自己改革」として自己改革の取組内容を毎月掲載しました。
- 季節の果実定期貯金による農産物のPRを行いました。実施品目は、温室みかん・ピオーネ・シャインマスカット・紅まどなどで、合計66億円の契約実績となりました。

01 農業者の所得増大



オリジナル復興
段ボールによる
災害果の販売



銘柄集約等による
仕入価格の低減



行政と連携した農産物
PR活動



園地での対面指導の
充実



県内外の店舗やイベント
での試食宣伝販売



「太陽市」出荷者による
PR販売

02 農業生産 の拡大



就農に向けての農地確保
と基盤整備



新規就農研修センター
での栽培技術習得



就農希望者への休日勉強
会の開催

03 地域の 活性化



「1支所1ふれあい活動」
の実施



地域貢献に向けて社会
福祉協議会と協定締結



JA えひめ中央おひさま
保育園の開園

04 その他



季節の果実定期貯金
による農産物のPR



生産協議会
会長との
意見交換会



ラッピング
バス運行で
事業PR



北条南支所
の建設



アグリセン
ター北条の
オープン